MITSUBISHI

三菱〈強制給排気式ガスストーブ〉クリーンヒーター

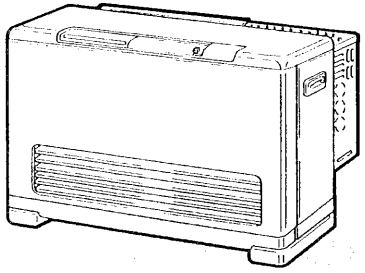
集中管理システム用

取扱説明書

お客さま用

形　名

VGB-421H-C
VGB-421H-C-DN
VGB-551H-C
VGB-551H-C-DN



もくじ

各部の名称…… 1
特に注意していただきたいこと…… 4
器具の設置…… 8
使用方法…… 9
日常の点検・お手入れ…… 12
故障・異常の見分けかたと処置方法… 13
長期間使用しない場合…… 16
部品交換のしかた…… 16
仕　様…… 17
アフターサービス…… 18
定期点検…… 19
設置工事後の確認と試運転…… 20

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この説明書は保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役だてください。

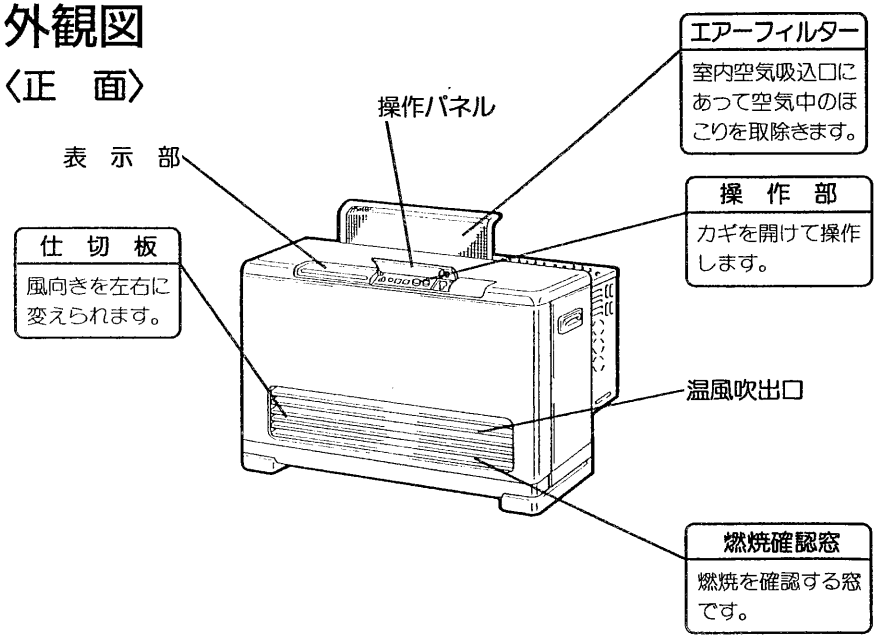
9407R588HG3201

各部の名称

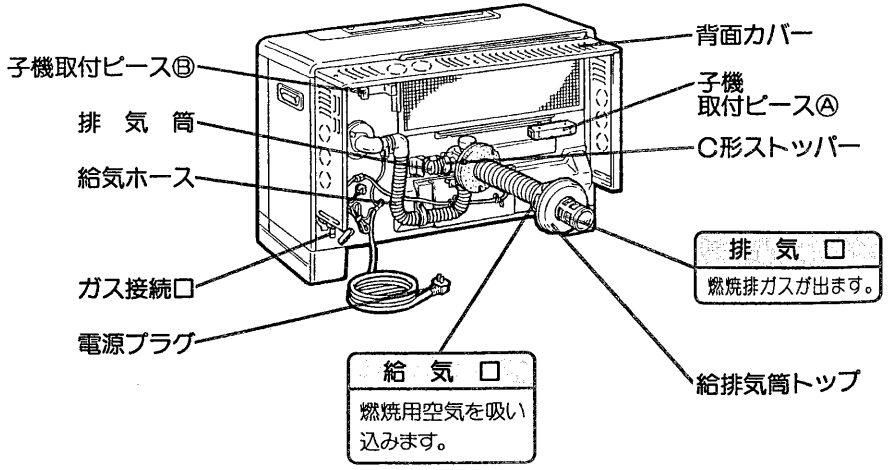
VGB-421H-C VGB-551H-C の場合 （集中管理システム運転 個別運転 ］兼用形）

■外観図

〈正　面〉



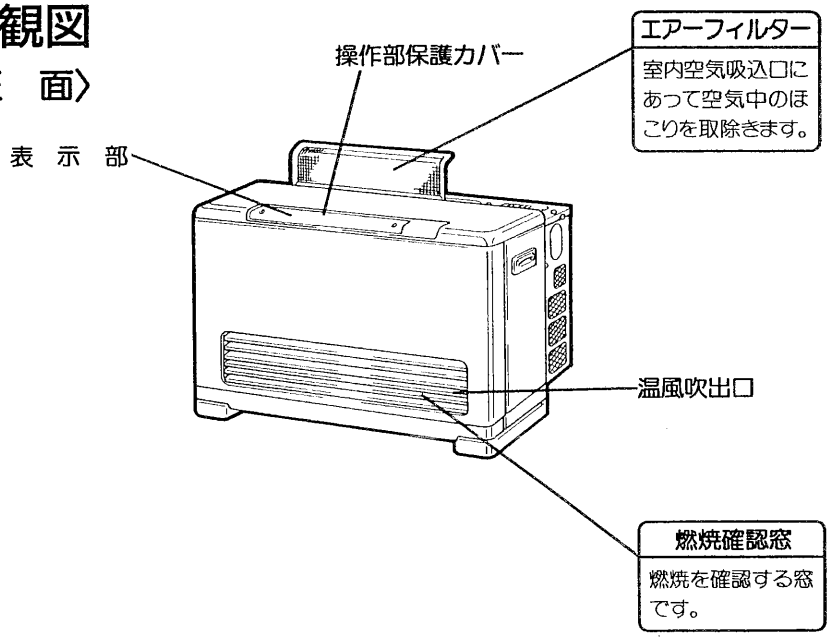
〈背　面〉



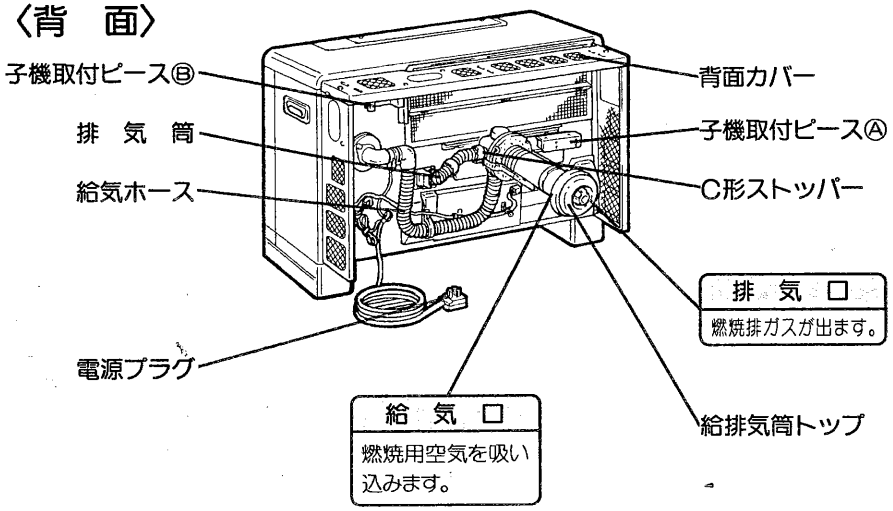
VGB-421H-C-DN VGB-551H-C-DN の場合 （集中管理システム運転専用形）

■外観図

〈正　面〉



〈背　面〉



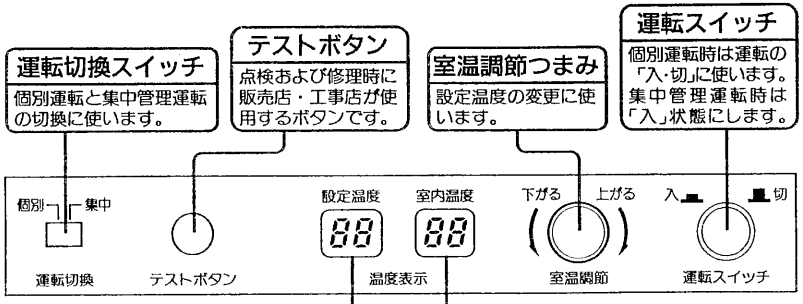
各部の名称 つづき

●個別運転および設定温度の変更をするには

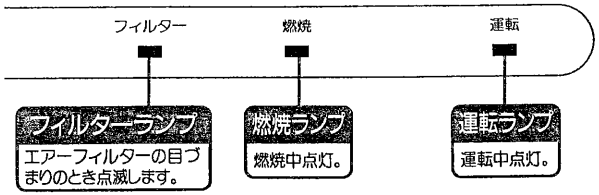
VGB-421H-C / VGB-551H-C の場合 操作パネルをカギで開けて操作してください。

VGB-421H-C-DN / VGB-551H-C-DN の場合 操作部保護カバーを六角レンチで開けて操作してください。

操作部



表示部



デジタル表示

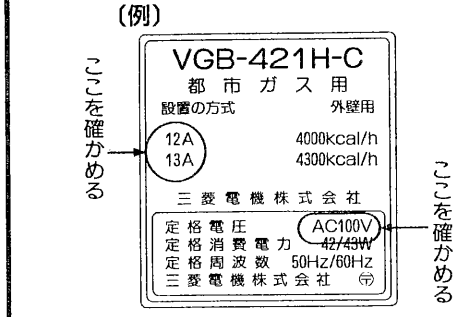
設定温度、室内温度を表示します。
また、異常のときは燃焼を停止し、エラーモード(故障・異常状態)を表示します。

●集中管理運転を行う場合は

常に運転スイッチを「入」・運転切換スイッチを「集中」にしておいてください。

特に注意していただきたいこと

使用ガス・電源について



使用ガス種・電源の確認

器具(銘板)に表示してあるガス種・電源(電圧)以外の使用はできません。

●ご使用のガス種が不明、または器具の表示と一致しない場合は、お買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご相談ください。

ご注意！

●器具に表示してあるガス種(ガスグループ)でも指定されたガス会社のガス以外は使用できません。

火災予防

1

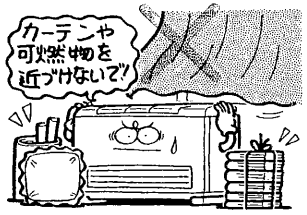
危険物は避けて

器具や給排気筒トップの周囲には危険物(ガソリン・シンナーなど引火しやすいもの)が絶対にないようにしてください。

●火災や部品の劣化の原因となります。

●器具から2m以内でヘアースプレーなどの引火物を使用したり、スプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。

2

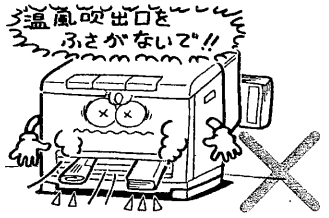


★カーテン、可燃物注意

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは、使用しないでください。また洗たく物の乾燥に使用しないでください。

●火災の原因になります、またカーテン・洗たく物が変色したり、器具が変形することがあります。

3



★温風吹出口をふさがないで

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。

●衣類、紙などでふさぐと、異常過熱や火災の原因になります。

特に注意していただきたいこと つづき

ガス事故防止

1

ガスの接続は規定の強化ガスホースまたは金属管で行われているか確認してください。不具合な場合はガス供給業者(ガス会社)にご連絡ください。
使用されないとき、外出の際には必ず部屋のガス栓を閉めてください。

2

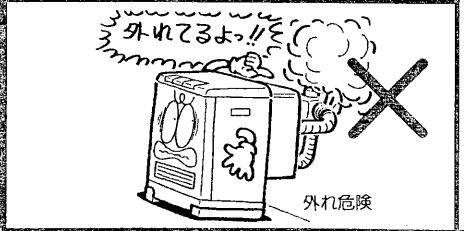
ガス漏れの点検

器具内部やガス管および接合部などからガス臭くないかときどき点検してください。

- 万一、ガス漏れに気づいたときは、部屋のガス栓を閉じて窓や戸を開けガスを外へ出してから、お買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご連絡ください。
- ガスが漏れたときは、すべての処置が終わるまで火をつけたり、器具の運転スイッチやその他の電気器具のスイッチを入・切しない、また電源プラグの抜き差しも絶対にしないでください。
火花で引火し、爆発事故をおこすことがあります。

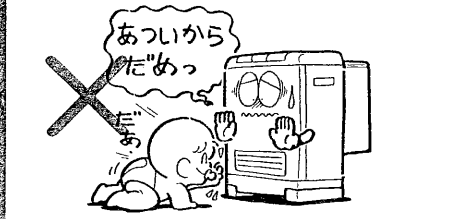
使用上の注意

1



給排気筒(管、ホース)が正しく接続されているか確認してください。
外れていると運転中に燃焼排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。

2



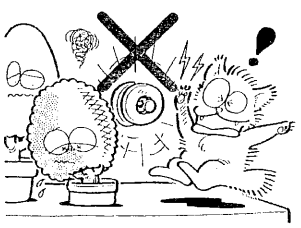
やけどに注意

運転中、温風吹出口は高温になりますので、触らないでください。
特にお子さまを器具に近づけないでください。

- グリルガード(システム部材)のご使用をおすすめします。

使用上の注意

3



給排気筒トップに注意

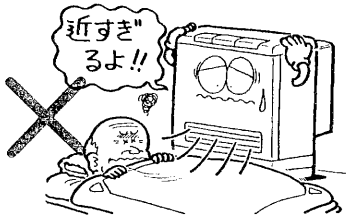
- 給排気筒トップ先端は高温です。やけどに注意してください。
- 燃焼排ガスが出ますので、愛がん動物・植木なども置かないようにしてください。
事故がおこったり、木が枯れたりする原因になります。

4

器具の上に腰かけたりものをのせないで

- やけどをしたり、器具の変形や給排気筒トップが外れ危険です。

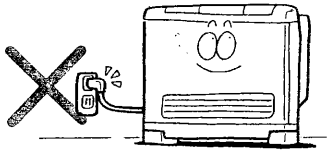
5



温風を長時間、直接身体にあてない

- 脱水状態になったり、低温やけどの原因になります。特に、体力のない病人・乳幼児・お年寄りには、まわりの人が注意してあげてください。

6



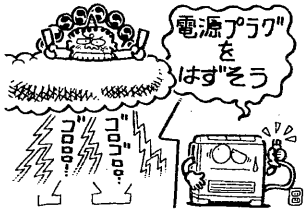
電源プラグを抜いて運転停止させない

運転停止は電源プラグを抜いたり、元電源(ブレーカー)を切ったりしないで

運転スイッチまたは親機の操作で行ってください。

- 器具が故障する原因になります。

7



雷時の注意

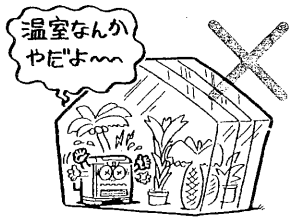
雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 激しい雷の影響で器具が故障するおそれがあります。

特に注意していただきたいこと つづき

使用上の注意

8

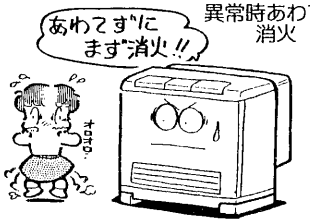


特殊な場所は避ける

器具は居室の暖房用としてつくられたものですので、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。
また、クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。

- 化学薬品などの影響により不完全燃焼や故障の原因になります。

9



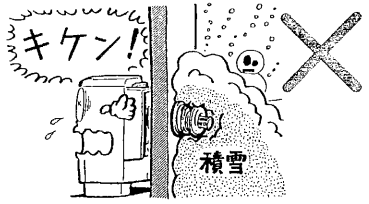
地震があったり、その他異常を感じた緊急の場合はあわてずに消火してください。

運転スイッチまたは親機の操作で消火し、部屋のガス栓を閉じてください。

- 地震のあとご使用になる場合は点検してからご使用ください。(詳しくは19ページ参照)

安全に使用するために

1



給排気筒トップが雪に埋れないように

- 給排気筒トップが雪に埋れたり、積雪で囲われたりすると

★運転できなくなったり、爆発的に点火して器具が故障することがあります。

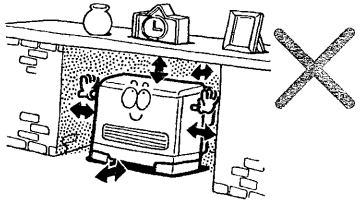
2

高地での使用について

標高1500m以上の場所では使用できません。

- 空気不足により運転停止したり、不完全燃焼の原因になります。

3



マントルピースへの設置について

裏面を点検するために必要な距離を確保してください。

- 詳しくは、同梱の設置工事説明書で確認してください。

器具の設置

お客さまご自身では設置しないでください。(事故の原因となります。)

設置場所の選定

器具の設置は販売店が「ガス機器の設置基準(ガス消費機器設置基準調査委員会編)」に基づき、行っております。
設置工事が完了後、20ページを参照し、お客さまご自身で確認してください。

標準設置例(器具と周囲との距離)

器具を設置する場合は、火災予防のため「ガス機器の設置基準(ガス消費機器設置基準調査委員会編)」に定められた寸法および、エアーフィルターの清掃、定期点検、給排気回りの点検、アフターサービスを行うために必要な下記の空間寸法を必ずとってください。

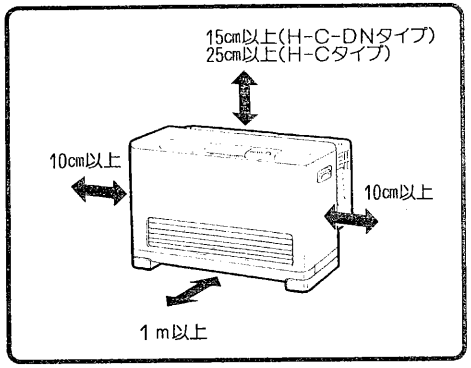
ご注意!

- 器具の裏面には必ず背面カバーを取付けてください。
- 背面カバーと壁との間にはすき間を開けないでください。
  (カーテンや紙などが入りますとこげたり、においなどの原因となります。)
- 部屋のガス栓の開閉、電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください。
- 右図の寸法内に可燃物および障害物がないようにしてください。

  上方……エアーフィルターの取出しに必要。
  設置工事をしやすくするためには上方寸法をできるだけ大きくとってください。

  左右側方…防火および壁の変色防止

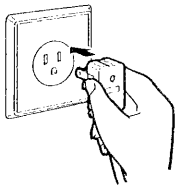
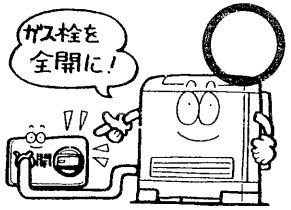
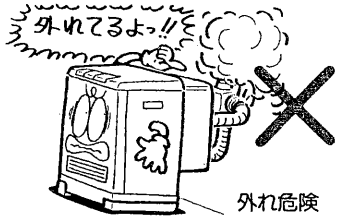
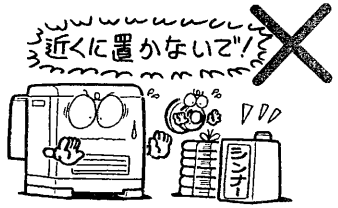
  前方……温風が障害物に当たって戻り、再び器具内部に吸込まれると、室温調節が正しく行われなくなります。
  温風吹出口前方にギャラリー(格子)を取付けない。室温調節が正しく行われないうえ、高温となり火災の原因となります。



左右および上方が囲われた状態(移動可能な家具は含まない)で設置する場合は、裏面を点検するための空間として少なくとも一方を30cm以上とすることが定められています。

使用方法

ご使用前の準備

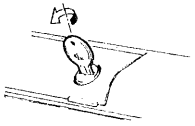
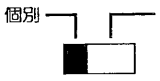
1	（例） 	電源プラグをコンセントに差込みます。
2		部屋のガス栓を全開にします。
3	 外れ危険	**給気ホース・排気筒接続の確認** ●給気ホース・排気筒が正しく接続されているか確認してください。 外れていると運転中に燃焼排ガスが漏れ大変危険です。
4		**器具周辺の確認** 器具の周辺および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物を置かないでください。

運転のしかた

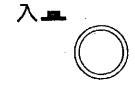
このクリーンヒーターは集中管理システムの親機によって運転されますが個別運転をする場合および設定温度の変更を行う場合は次のように行います。

■VGB-421H-C-DN，551H-C-DNの場合は六角レンチを使用して操作部保護カバーを外します。
（試運転・設定温度の変更時など）

個別運転のしかた VGB-421H-C 551H-Cのみ

	操作部	手順
1		カギを使い操作パネルを開けます。
2	 運転切換	運転切換スイッチを「個別」にします。 ●細い棒状のもので操作してください。
3	運転スイッチ	運転スイッチを「入」にします。 （運転ランプ点灯）

集中管理運転に戻すとき

4	運転切換	運転切換スイッチを「集中」にします。 ●細い棒状のもので操作してください。
5	 運転スイッチ	運転スイッチを「入」にします。 ●操作パネルを閉めカギをかけます。

設定温度の変更のしかた

	操作部	手順
1	個別 ― ― 集中 運転切換	運転切換スイッチを「個別」にします。 ●細い棒状のもので操作してください。
2	入 ― ― 切 運転スイッチ	運転スイッチを「入」にします。 (運転ランプ点灯)
3	下がる　上がる 室温調節	室温調節ツマミを回してご希望の温度にセットします。

使用上の注意

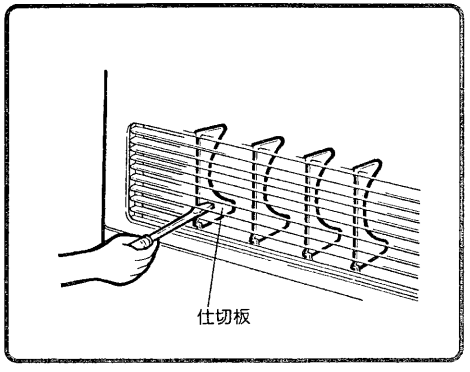
●室内温度表示が設定温度より高いときは燃焼しないことがあります。
●点火時キシミ音がすることがありますが、熱交換器などが加熱するときの音で異常ではありません。
●消火後キシミ音がすることがありますが、熱交換器などが冷却するときの音で異常ではありません。

風向き調節のしかた VGB-421H・C 551H・Cのみ

●風向きを左右に変えるには、温風吹出口の奥の仕切板を棒状のもの(ドライバーなど)で動かしてください。

ご注意!

●運転中は温風吹出口が熱くなりますので、風向き調節はしないでください。
●上下の風向きは絶対に調節しないでください。無理に変えると畳、じゅうたんが変色したり、故障の原因になります。
●左右の調節は3~5回が限度です。それ以上動かすと折れるおそれがあります。



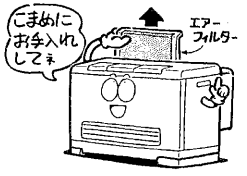
日常の点検・手入れ

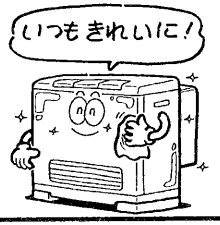
点検・手入れのときの注意

●必ず運転スイッチを「切」にして、器具の運転を停止し、ガス栓を閉じて器具が冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際は手袋の着用をおすすめします。

点検・手入れの必要項目、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方法
シーズンはじめ	給気ホース 排気筒	エアーフィルターをとり、背面カバー上板を外して、給気ホース・排気筒の接続箇所が外れていないか確認します。
シーズンはじめ	給排気筒トップ	室外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。
使用のたび	燃焼排ガス	燃焼排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。燃焼排ガスが漏れていると一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。
使用のたび	ガス漏れ	器具内部やガス管および接合部分などがガス臭くないか点検します。万一ガス漏れに気付いたときには、部屋のガス栓を閉じて窓や戸を開けガスを外へ出してからお買い求めの販売店またはガス供給業者(ガス会社)へご連絡ください。
使用のたび	周囲の可燃物・引火物	器具の上や周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物がないか点検します。
1週間に1回以上	エアーフィルター	エアーフィルターを右図のように取外し、掃除機などでほこりを取除きます。 ●温風吹出口から風が出ていないことを確認してから行ってください。送風中に行うと器具内部にほこりが入ることがあります。
1カ月に1回以上	器具外観	器具の汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ●シンナー・アルコール・ベンジンなどをお手入れに使用しないでください。





故障・異常の見分けかたと処置方法

VGB-421H-C,551H-C の場合

異常が生じた場合は、操作パネルをあけますと表示部にエラーモードが表示されますので下表を参照してお客さま自身で処置してください。

	現象 / 原因	運転ランプが点灯しない	表示部にE-12を表示するフィルターランプが点滅し、	表示部にE-00を表示する	表示部にE-01を表示する	暖まらない	処置	参照ページ
1	電源プラグがコンセントから抜けている	●					電源プラグをコンセントに確実に差込む	9
2	停電があった			●			運転スイッチを押しなおす	10
3	部屋のガス栓が全開になっていない				●	●	部屋のガス栓を全開にする	9
4	温風吹出口がしゃ閉されている		●			●	温風吹出口のしゃ閉物を取除く	4
5	エアーフィルターにほこりがつまっている		●				エアーフィルターを清掃する	12
6	給排気筒トップの先端がふさがっている				●		給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取除く	12
7	LPガスボンベが空になっているまたは、ガス栓がしまっている				●		燃料屋さんに連絡するまたは、ガス栓を全開にする	9

以上の方法で点検し処置をしてもなおらないときは、使用を中止し、お買い求めの販売店に修理依頼または、最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。
修理をお申しつけのときには故障の内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるエラーモード(故障・異常状態)をご連絡ください。

表示部にこんな表示がでたら販売店までご連絡ください

E-02　E-03　E-04　E-05　E-06　E-07
E-08　E-09　E-10　E-13　E-14　E-17

※表示部にE-06の表示が出たら、電源プラグをコンセントに差込みなおしてください。
※表示部にE-01、E-04、E-13の表示が出たら、給排気筒トップ、給気口、排気口が異物でふさがれていないか確認してください。異物を取除いて運転スイッチを押しなおしてください。

上記の処置をしてもまだ表示が出る場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

VGB-421H-C-DN VGB-551H-C-DN の場合

異常が生じた場合は、下表を参照して、お客さま自身で処置してください。

	現象 / 原因	運転ランプが点灯しない	フィルターランプが点滅する	燃焼ランプが点灯しない	暖まらない	処置	参照ページ
1	電源プラグがコンセントから抜けている	●				電源プラグをコンセントに確実に差込む	9
2	部屋のガス栓が全開になっていない			●	●	部屋のガス栓を全開にする	9
3	温風吹出口がしゃ閉されている		●		●	温風吹出口のしゃ閉物を取除く	4
4	エアーフィルターにほこりがつまっている		●			エアーフィルターを清掃する	12
5	給排気筒トップの先端がふさがっている			●		給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取除く	12
6	LPガスボンベが空になっているまたは、ガス栓がしまっている			●		燃料屋さんに連絡するまたは、ガス栓を全開にする	9

●六角レンチを使用して操作部保護カバーを取外すと、デジタル表示部には、左ページと同じエラーモードが表示されます。

以上の方法で点検し処置をしてもなおらないときは、使用を中止し、お買い求めの販売店に修理依頼または、最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法 つづき

こんな症状のときは使用を中止し販売店にご連絡ください。

使用される場所や条件、または長期間の使用により、下記のような現象が見られる場合には、使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へご相談ください。

現　　象	予 測 さ れ る 故 障
運転開始しなかったり、使用途中で火が消えることがたびたびある。	部品が故障しているおそれがあります。
運転開始時や使用中に「ボーン」という大きな音がする。	機器を損傷したり、部品が故障しているおそれがあります。
燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする。	燃焼排ガスが漏れているおそれがあります。 ●燃焼排ガスが室内に漏れますと、一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。

長期間使用しない場合

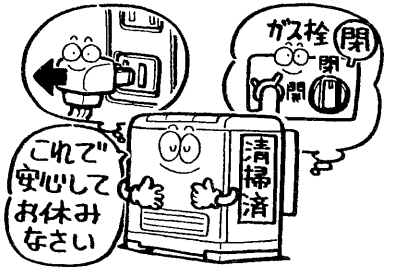
長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 器具外装、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をしてください。(12ページ参照)

3 器具内部の清掃は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

4 器具は据付けたまま保管してください。



●どうしても取外して保管するときは湿気やほこりの少ないところに保管してください。
次シーズンに据付けるときには必ずお買い求めになった販売店に依頼してください。

部品交換のしかた

経年により消耗、劣化しやすい部品があります。
異常かなと思われましたら、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。
専門技術者が修理いたします。不完全な修理は危険です。

消耗、劣化しやすい部品

項　　目	内　　容
使用時間により交換が必要な部品	各種パッキン、排気筒接続用Oリング呼びP34(JIS B2401 4種D)、点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
環境により劣化しやすい部品	給排気系部品、電気接点部品、ガスフィルターなど

仕　様

仕様一覧表

製品名		クリーンヒーター	
形式の呼び		VGB-421H-C, VGB-421H-C-DN	VGB-551H-C, VGB-551H-C-DN
種類	暖房方式	強制対流式	
	給排気方式	密閉式(強制給排気式)	
点火方式		放電点火式	
定格電圧・定格周波数		単相100V・50/60Hz	
消費電力		強 42/43W　弱 33/34W	強 51/53W　弱 39/39W
電源コードの長さ		2m	
給排気筒トップ		ステンレス製・壁穴径(H-Cタイプ φ65mm, H-C-DNタイプ φ80mm)	
安全装置		過熱防止装置・過電流保護装置・停電安全装置・立消え安全装置	
排気温度		260℃以下	
外形寸法		高さ 535mm×幅 750mm×奥行 き236mm(背面カバー付)	
質量(本体)		21kg	22kg
ガス接続		R3/8ネジ	
使用ガス ガス消費量		都市ガス 7C ……4400kcal/h 6A・6B・13A ……4300kcal/h 4A・4C・5A・5C…4200kcal/h 5B・6C……4100kcal/h 4B・12A……4000kcal/h LP(プロパン)ガス ……0.35kg/h	都市ガス 7C ……5600kcal/h 6A・6B・13A ……5500kcal/h 4A・4C・5A・5C・6C…5200kcal/h 5B・12A……5100kcal/h 4B ……4900kcal/h LP(プロパン)ガス ……0.43kg/h
暖房のめやす	温暖地	木造11畳(18㎡)まで コンクリート15畳(25㎡)まで	木造13畳(21.5㎡)まで コンクリート18畳(30㎡)まで
	寒冷地	木造11畳(18㎡)まで コンクリート18畳(30㎡)まで	木造14畳(23㎡)まで コンクリート22畳(35㎡)まで

●暖房のめやすの数値は平成元年11月1日改正告示のJIS S 3031(石油燃焼機器の試験方法通則)の解説書に準拠し、(社)日本ガス石油機器工業会の統一基準によります。
●ガス消費量は標準ガスを使用したときの消費量を表し、各家庭での消費量とは一致しないことがあります。

アフターサービス

サービスを依頼される前に

取扱説明書の「故障・異常の見分けかたと処置方法」(13〜15ページ参照)に従って調べていただき、なおらないときには、次の処置をしてください。

●保証期間中は…

お買い求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

●ご住所・ご氏名・電話番号
●製品名・形名・ガスの種類・お買い上げ日
●故障または異常の内容
できるだけ詳しく(表示部のエラーモード(故障・異常状態)数字など…VGB-421、551H-Cのみ)
●訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは…

お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

転居や設置場所の変更

増改築や転居・移設などによる取外しおよび再設置は、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口(連絡先は同梱の一覧表参照。)へご相談ください。

●転居される場合は、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のガス事業者にご相談ください。
ガスの種類・ガス会社のガスが異なる地域では調整または改造の必要があります。
●器具を一旦外され、再使用されるときは、排気筒接続部のOリング(ゴムパッキン)はすべて交換します。

保証について

★この商品には保証書を別途添付しております。
★保証書は販売店から必ずお受けとりください。
★保証書は保証書に記載の条件、期間の無料修理をお約束するものです。
販売店名、お買い上げ日などの記入をご確認のうえ、大切に保管してください。
★保証期間はお買い上げ日から本体は1年間です。ただし、燃焼器部分は3年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

強制給排気式ガスストーブの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後7年です。

●この期間は通商産業省の指導によるものです。
●性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

連絡先

お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口(連絡先は同梱の一覧表をご覧ください。)にお問い合わせください。

定期点検

強制給排気式ガスストーブ「クリーンヒーター」は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者による定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めになった販売店にご相談ください。

★定期点検
定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

★お申し込み先
お客さま→お買い求めになった販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談窓口

★定期点検費用
定期点検の費用についてはお買い求めの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換及び修理等が必要な場合は、処置内容及び費用についてお客さまにご相談申しあげます。

定期点検の内容

	定期点検の内容	項目
1	設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置・使用状態 ●ガス漏れ ●給排気筒の接続とつまり ●給排気筒トップのつまり
2	安全装置、及び運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●運転動作の点検 ●操作部品や動く部品の働き
3	環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
4	製品の清掃・整備	●本体内 ●温風吹出口

地震などの災害が発生したときの点検について

★地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りの外れ、漏れの確認 ●ガス配管からの漏れ確認
★点検で異常がみつかったときや点検したのち使用しているとき燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止して販売店に修理依頼するか、最寄りの三菱電機お客さま相談窓口へ修理依頼してください。

設置工事後の確認と試運転

設置工事後の確認

設置工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検箇所	点検項目	チェック結果
器具	器具の回りは必要な空間がありますか。	
	床面の不安定な場所に設置してありませんか。	
	器具が固定してありますか。	
	ガス種・電源(電圧)は器具の表示と合っていますか。	
	電源コード・子機接続ケーブルは排気筒に触れていませんか。	
給排気部品	給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
	排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
	給排気筒の外れ・ゆるみがありませんか。	
	燃焼排ガスは屋外へ排気されていますか。	
	給排気筒トップの取付けが屋外に向かって下り勾配になっていますか。	
	給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
	給排気筒トップの周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	
	給排気筒トップが必ず取付けられていますか。	
	給排気筒トップの給気穴から燃焼用空気が吸い込まれていますか。異物でふさがっていませんか。	
	給排気筒トップの排気穴より燃焼排ガスが出ていますか。	
	集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	
延長工事	床下・天井裏への給排気はしてありませんか。	
	排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
	給気ホース・排気筒の長さは4m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	
	排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部はありませんか。	
	排気筒の延長立上げ寸法は2.5m以下になっていますか。	
検知リード排気筒外れ	排気筒外れ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
	排気筒外れ検知リードは、排気筒に接触していませんか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがあり危険です。販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

設置工事後の確認と試運転 つづき

試 運 転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

運転準備

●部屋のガス栓を全開にしてください。
●電源コンセント(単相100V)は専用でお使いください。また、差込みが十分か確認してください。

運　転

●個別運転で正常に運転することを確認してください。
●運転切換スイッチを「集中」に切換え、親機にて正常に運転できることを確認してください。

■初期運転時の異常現象
●初期運転時、ボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
●温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。部屋の換気をしながらご使用ください。

■正常運転の目安
●正常運転の目安として13･14ページのような現象がないことを確認ください。

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターの点検を！

●クリーンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。

●排気パイプがはずれている。
●臭いがしたり、目がチカチカする。
●本体後部の壁がススで汚れている。
●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。
●点火しない。使用中炎がたびたび消える。
●運転中に「ボーン」という大きな音がする。
●その他の異常・故障がある。

使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

形　　名	
お買い上げ年月日	
お買い上げ店名 (住　所) (電話番号)	(　　) ＿＿＿＿＿＿

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111